



参画だより

No.47

2012. 7. 31

弘前市民参画センター

PICK UP!

男女共同参画の視点で読む

世界の格言・名言

この世に存在する数々の問題は、
その問題が発生したときと
同じ考え方では解決できない

アインシュタイン



弘前市民参画センター事業紹介「さんかくネット子育てサポーター研修会」ほか P 2

男女・団体紹介「育児休業を取りました」第2回 P 3

おとこの気持ち聞いちゃいました「団塊の世代は語る」 P 4

さんかくひとりごと「いろいろな男性の姿に」 P 4

利用者・利用団体紹介「ウォッチング青森」ほか P 5

まなぼ「弘前市男女共同参画プラン」第1回 P 6・7

本の紹介「置かれた場所で咲きなさい」 P 8

センターからのお知らせ P 8



「さんかくネット」子育てサポーター研修会

5月24日、弘前市の子育てサポートシステム「さんかくネット」に登録し、「子育てサポーター」として一時預かりなどの子育て支援を行っている市民を対象とした「さんかくネット子育てサポーター研修会」を市民参画センターで開催しました。

今回の研修会では、鰯ヶ沢町が行っている子育て支援の取り組みについて、同町健康福祉課副参事の今千恵さんが講演しました。

鰯ヶ沢町では平成21年に、女性が安心して妊娠・出産・育児ができるように、母子支援センターを開設しました。センターには助産師や町民のボランティアによる母子支援ヘルパーを置き、きめ細かいサービスで利用者の求めに対応



「子どもたちのすこやかな成長を地域で支えたい」と話す講師の今千恵さん



鰯ヶ沢町で行われている子育て支援事業について学ぶ子育てサポーター

しています。今さんは、妊娠中の訪問・相談、出産後の家事援助、ベビー用品の再利用など、鰯ヶ沢町が行っている子育て支援事業の内容や、センターの設立に当たって弘前市のさんかくネットを参考にしたことなどを紹介しました。今さんは、「子育て支援は次世代を担う子どもたちのための大切な役目」と話し、「見返りを求めず、自分の余った時間でやってみよう」と長続きすると思う」と、出席した子育てサポーターへアドバイスしました。

平成24年度第1回さんかくシアター

6月19日、市民参画センターで今年度第1回目の無料ビデオ上映会「さんかくシアター」を開催しました。

「さんかくシアター」はゆっくりとビデオ映画を鑑賞する時間を設けることで、自分の生き方や可能性を考える機会を提供するとともに、男女共同参画社会に対する理解の普及を目的として、平成20年度から実施しています。

企画運営には毎回市民グループが参画しています。今回のシアターでは、福祉施設を訪問して入所者と一緒に童謡や歌謡曲を歌うことで、音楽の持つ癒しの力を届けるという活動を行っている「音楽ボランティア協会・赤とんぼ」が上映作品の選定と当日の司会進行を行いました。



グループの活動や男女共同参画社会について説明する相澤保正さん



映画に見入る参加者

上映に先立ち、代表の相澤保正さんが活動内容について紹介したほか、男女共同参画社会について説明し、「男女がともに力を合わせて、安全・安心で住みよい社会をつくっていくことが大事」と述べました。

今回の「友情 Friendship」は、難病に冒されながらも明るく懸命に生きる少女と、クラスメイトや教師との絆を描いた物語。鑑賞した参加者からは、「周囲の人と支え合うことが大切だと思った」「生と死について考えさせられた」などの感想が寄せられました。



「育児休業を取りました」その2



3月まで当センター職員だった藤田知道さんが第一子誕生により、12月から1月にかけて、約1ヶ月の育児休業を取得しました。妻が育児休業を終え職場に復帰するタイミングでの休業です。前号と今号2回に分けて体験談や、育児休業についてお伝えしています。2回目は育児休業について話してもらいました。

★休業を取ろうと思ったのはいつごろから？

妻の妊娠が分かった時からです。初めての子どもなので、いろいろシミュレーションすると「大変だろうな」と思い、漠然と「取れたらいいな」と思っていました。

休業を取るなら本当は一番大変な産後2ヶ月くらいを妻と一緒に取れば妻の負担も少なく、良いと思ったのですが、その時は職場の体制が整わず、仕事に少し落ち着いてきたとき「このタイミングで行けるかな」と思い職場に伝えました。実際には職場のことを考えると悩みま

したが「この職場にいて、この職員が取らないとどこの職員が取らんだ」と思い決めました。

★休業を取ってみて感じたことは？

男性の中でも育児休業については、「取りたい」「取れない」「取ろうと思わない」とかいろいろな考えを持っている人がいると思います。

休業を取ろうと思った理由が何個かあって、一つに女性が育児休業を取っても何も言われず、男性が取ろうとすると周りが反応するというのが何故か腑に落ちなくなっていたというのがありました。特別なことじゃないと思うんですけどね。

今回取ったことで周りの感想を聞くと、「すごいね」とか驚かれたり、否定的だったり、中には「業務命令!？」なんていう人もいました(笑)。

その中で、ただ一人だけ「よく決断しましたね」と言った人がいて、この言葉がなぜか妙に感情的にフィットしました。お

そらく、今の世の中で『男性が育児休業を取得するということが色濃く表された言葉なのだと思います。』

育児休業には、様々な考え方があり、個々人が置かれる状況や背景なども様々だと思います。そんな中で、男性も育児休業を必ず取得しなければならないとは言いませんが、取ることによって、家庭内はもちろん、職場内でのメリットもあるんです。

結局、家事や育児、仕事も自分の身の施し方というのは同じで、妻がどんな動きをしているか見る。同僚がどんな仕事をしているか確認しておく。それらにアンテナを張っておけば、お互いにフォローし合えるようになるので、そういうのは広げていけたらなと思っています。

★職場の環境作り

休業明け、私の職場では何事もなかったように物事が進んでいました。じゃ、私はいらなかったのかと(笑)。当たり前ですが、休業を取る前に整理して体制づ

くりをしていたからなんです。

それは、育児休業に限らず職場の中で必要なことだと思います。私が突然いなくなっただとして、私しか処理できない仕事があれば大変なことになるじゃないですか。だから普段からみんなができるように仕事の『平準化』をしていくことが大切だと思います。それによって、仕事上でも孤立することなく、ミスなんかも減るんじゃないでしょうか。そういったことも職場内でうまくやれば、育児休業も取得しやすくなるのではないのでしょうか。

★伝えたいこと

もしも二人目の子どもが産まれる時が来たら、次は絶対産後8週の期間に取りますよ！宣言します(笑)。普通に考えても出産、育児は大変なんです。妻ひとりに抱えさせるのは大きな負担ですからね。弘前市役所の男性職員で育児休業を取ったのはまだ二人目。機会があればまずは1週間でも2週間でも取ってみては？と言いたいです。仲間が出来る嬉しそうですからね。



Q. 男女共同参画って知っていますか？

A. 言葉は知っているが、説明はできない。

Q. 会社役員として決定の場に女性が必要？

A. ケースバイケースだと思う。責任をとれる範囲と考えると不安はある。

Q. 男らしさにこだわりますか？

A. こだわります。子どもの頃から男らしさはカッコイイの象徴でしたから。それは、思いやりのある人・信頼される人・基本的に真面目な人だと私は思っているの。

Q. 自分でできる家事は何かありますか？

A. 家事は基本的に何もできない。妻がデキる人だから(笑)。我々の時代は“男子厨房に入らず”でしたよ(笑)。

Q. 人生のパートナーはどんなとき必要ですか？

A. 落ち込んだとき。妻が察知して言った一言が前に進むきっかけを作ってくれた…。そんなときがありました。

Q. これからのカップルに何を望みますか？

A. 結婚し、子どもを産み育て次の時代を作ってほしい。今の人は考えすぎるから…。若さで前に進んでほしい。



60代・会社役員・既婚

インタビューを終えて

～団塊の世代は語る～

映像でいうと、「三丁目の夕日」から「3.11」まで、“復興の時代”をひとつの仕事で生き抜いてきた人だ。今までの経験、体験が言わせる答えがすぐに返ってくる。理屈はあまり言わないが、はっきりとした信念が感じられる。これが若い人に通じるか、「時代だから」で終わるか…。
梅

～いろいろな男性の姿に～



・ある眼科クリニックで

土曜日のせいか(休みでもない限り父親が子どもの病院には付き添わないだろうという自分の思い込みに苦笑ではあるが)、込み合っている眼科クリニックで、子どもを連れた父親を2人発見。特に4歳くらいの男の子を連れた父は、待ち飽きてしまっ「もう家に帰りたいよう！」と叫ぶ子に、大きな声も出さず、一生懸命子どもを諭し忍耐強く付き合っている。その姿がとても好ましく映った。

・父の日のイベントの話題に

父の日のイベントがテレビで話題になっていた。童心にかえって子どもと一緒にラジコンカーを組み立てる父。その姿に見入っている子ども。子どもから見た、「なんでもできてしまうお父さん」はとてもカッコイイらしい。

また父の日のプレゼントにと「パパ向けのベビーカー」、「パパ向けのおんぶひも」「パパも持てるマザーバッグ」などおもしろい商品が話題になっていた。これもイクメン効果だろうか？

・ついに出現～ケアメン(介護をする男性)

母や妻の介護をする男性が増えているというニュース。ケアメンは今や3人に1人の割合だそうだ。これからますます増加する見込みだとか。ケアメンをサポートする自治体や事業が増えているという。介護に疲れた女性だってかなりいるだろうに思いながらも、少し前まではこのようなニュースが普通に流れるのさえ考えられないことだったと妙に感心してしまった。

マスメディアの力は大きい。大きな効果を生み出す力を持っているようだ。「ああ、世の中は少しずつ変化しているんだなあ」と実感したことばかり。





観察会のように

楽しむ：身近なフィールドで観察会を行い自然を楽しんでいます。5月には平川市志賀坊で春の息吹に触れる観察会、相馬でサンショウウオやモリアオガエルの観察会

地域の自然を子どもたちに伝えたい

青森県自然観察指導員連絡会（ウォッチング青森）の弘前地域グループは、（財）日本自然保護協会と連携し、弘前地域を中心に自然を守る様々なボランティアの取り組みを行っています。地域の豊かで貴重な自然を子どもたちに伝えたい。これが会員の共通の願いです。

取り組みの柱は、「楽しむ」「調べる」「学ぶ」の3つです。

弘前市民参画センター利用団体紹介

《ウォッチング青森》

センター利用者に突撃インタビュー



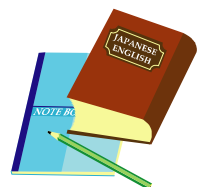
10代・女性



- ◆突然ですが、男女共同参画という言葉は聞いたことがありますか？
言葉は聞いたことがありますが、詳しくはわかりません。
- ◆デートDVは聞いたことがありますか？
身近にはいませんが、ニュースなどで聞いたことがあります。
- ◆どう思いましたか？
男の人は怖いと感じました。
- ◆社会は平等だと思いますか？
平等ではないと思います。例えば、会社の代表や会長は男の人ばかりで女性が全然出てこないの、もっと女性が出てくれば良いと思います。
- ◆あなたの周りは男女平等だと思いますか？
私の周りでは、家や大学でも特別に男が強いとは感じないので、そんなに差は感じていないです。
- ◆センターはいつから利用していますか？
使い始めは高校1年生からです。利用して3～4年になります。
- ◆利用するきっかけは何ですか？
友だちから勉強しやすいと誘われて、一緒に勉強しにくるようになりました。
- ◆センターはどんなところが利用しやすいですか？
ここでは飲食しながら気軽に勉強できるのが良いです。大学への通学路にあるので、場所的にも通いやすいです。これからも続けて利用していくつもりです。

突撃インタビューをお願いしたら、はにかみながら承諾してくれたさわやかな笑顔が素敵でした。インタビューのひとつひとつに丁寧に答えてくれた誠実さと、物静かな中に芯のある頼もしさを感じました。

by のん



を行いました。フィールドを歩きながら梢から野鳥の声が聞こえてくると探鳥会が始まります。自然の豊かさを眼、耳、手、鼻など五感を駆使して感じ、楽しみ、知ることを通じて、自然を守る力に変えていきます。

調べる：植物や水環境など、座頭石エリアを中心に里山の環境の変化を調べています。これは日本自然保護協会が実施している全国自然環境調べの一環で、今年が5年目になります。設定したフィールドに咲いている花やつぼみ、実

の種類、水の温度やpH、色、水量などの調査です。
学ぶ：奇数月の最終水曜日夜7時から参画センターを会場に、一般公開の勉強会を開いています。植物や動物、環境問題などに詳しい研究者、実践者を講師にお招きし、1時間半お話しただいています。無料でどなたでも参加できます。今後は、9月26日に津軽植物の会会長の木村啓先生をお招きする予定です。
私たちはこうした取り組みを通じて、みんなが自然のしくみを尊重する社会をめざしています。現在弘前エリアの会員は20名程。どなたも自然と人間に優しい心の持ち主ばかり。観察会や勉強会は新聞の行事欄などでお知らせしています。どうぞ、私たちの取り組みをのぞきにおいでください。歓迎いたします。
そうそう、会費は年2000円。観察会の保険料や会場費、会報作成・発送などに充てています。

ウォッチング青森事務局

竹浪 純

同参画プラン

あふれる弘前の実現 ～

生き方や価値観の多様性を認め、性別に関わりなくすべての人にとって
として「弘前市男女共同参画プラン」を策定しました。
ンを3回に分け紹介します。

基本目標Ⅱ 男女共同参画社会形成への意識づくりと定着

男女共同参画社会の実現のためには、依然として職場、学校、家庭、地域社会のあらゆる場に根強く残っている固定的性別役割分担意識の解消が不可欠です。

男女平等の価値観や意識は、幼児期からの生活や教育に影響されることから、人権尊重と男女平等を推進する教育、学習に取り組むとともに、男女共同参画社会の形成に向け、固定的性別役割分担意識の解消を目指して、社会制度や慣行の見直しを進めていくための意識啓発を継続し、その定着を図ります。

【重点目標3 男女共同参画形成に向けた社会制度・慣行の見直し、意識の改革】

施策の方向1
男女共同参画社会
形成に係る理解促進



《主な取り組み》

- ★男女共同参画の推進を図るとともに、市民の学習活動、交流活動の場を提供する弘前市民参画センター運営事業
- ★広報ひろさきへの定期的啓発記事の掲載
- ★市民のニーズをふまえた理解の促進を図るため、弘前市出前講座「男女共同参画社会」の開催

施策の方向2
男性にとっての
男女共同参画



《主な取り組み》

- ★市民団体や関係団体、市の関係部署間で連携しながら、男性や世代間格差等に配慮し、実生活に沿った各種セミナー等を開催

施策の方向3
男女共同参画に
関する意識調査



《主な取り組み》

- ★男女共同参画に関する定期的な意識調査の実施

【重点目標4 学校教育、生涯学習における男女共同参画の推進】

施策の方向1
豊かな心を育てる
学校教育の実施



《主な取り組み》

- ★命を大切にする心や倫理観などを育む教育の推進、学級経営等の充実

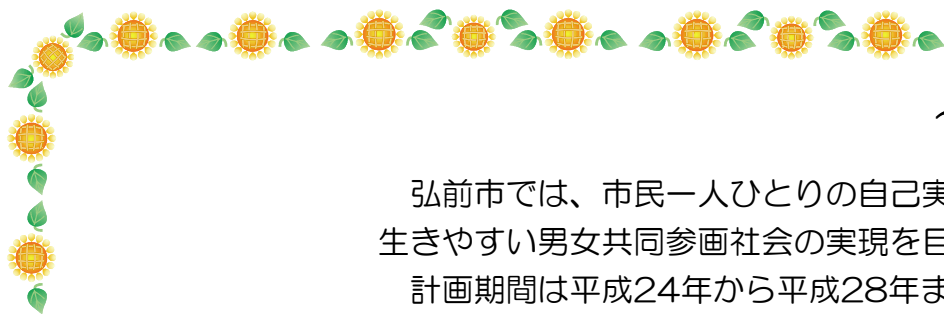
施策の方向2
男女共同参画の視点に
立った生涯学習



《主な取り組み》

- ★男女共同参画意識を育てる「ひとにやさしい社会推進セミナー」の開催
- ★男女共同参画関係団体との情報交換会、セミナーの開催による生涯学習機会の充実

【成果目標】…「男は仕事、女は家庭」という考え方について同感しない割合を46.6%（H23）から50%以上（H28）とします。



弘前市男女共

～ 一人ひとりの笑顔が

弘前市では、市民一人ひとりの自己実現を可能にするために、個人の生きやすい男女共同参画社会の実現を目指して、より実効性のある計画計画期間は平成24年から平成28年までの5年間とします。このプラ

○基本理念と基本目標

本プランの基本理念を「一人ひとりの笑顔があふれる弘前の実現」とし、その達成のために次の5つの基本目標を掲げ、男女共同参画社会の実現を目指します。

<u>基本目標Ⅰ</u>	政策・方針決定過程での男女共同参画の促進……………(第1回)で紹介
<u>基本目標Ⅱ</u>	男女共同参画社会形成への意識づくりと定着……………(第1回)で紹介
<u>基本目標Ⅲ</u>	職場、家庭における男女共同参画の推進……………(第2回)で紹介
<u>基本目標Ⅳ</u>	地域社会における男女共同参画の推進……………(第2回)で紹介
<u>基本目標Ⅴ</u>	一人ひとりの人権が尊重される社会の形成……………(第3回)で紹介

○基本計画の推進

基本計画の進ちょく状況を客観的に評価するものとして、基本目標ごとに「成果指標」を設定しています。この他、基本計画の進ちょく状況を評価する上での参考として、具体的な事業にあたる主な取り組みについても「活動指標」を設定します。

これらの指標を基に、市民の代表等で組織するアドバイザー会議で評価・点検し、その結果を市役所の関係課へフィードバックして施策等に反映できるようにします。また、広報等を通じて市民に公表します。

基本目標Ⅰ 政策・方針決定過程での男女共同参画の促進

政治、職場、学校、地域社会などあらゆる分野において、男女がともに責任を担い、多様な意見を政策等に反映させるため、政策・方針決定の場に女性のみならず、あらゆる市民の参画が拡大するよう、取り組みを進めます。

【重点目標1 政策・方針決定過程への女性の参画拡大】

施策の方向1
審議会等への
女性の参画拡大



《主な取り組み》

- ★女性や若者の枠に配慮した審議会等への公募枠拡大
- ★市附属機関等の女性委員の比率を40%以上に増加

施策の方向2
市女性職員の
管理職への登用促進



《主な取り組み》

- ★男女共同参画に関する職員研修事業
- ★地方公務員法の規定に基づく、勤務成績、能力、適正、意欲等をふまえた適正な職員の登用

【重点目標2 女性の人材活用とエンパワーメント支援】

施策の方向1
女性の人材に関する
情報収集と情報提供



《主な取り組み》

- ★国、県やその他と連携した女性人材情報の収集と提供

施策の方向2
女性のエンパワ-
メント支援の促進



《主な取り組み》

- ★具体的な行動や考え方の模範となる地域の女性人材の発掘
- ★地域女性のネットワークづくりへの支援

【成果目標】…公募可能な審議会等における公募実施割合を19%（H22年）から100%（H25年）とします。

市民参画センターからのお知らせ

★さんかくネット「つどいの広場」

日時：9月8日（土）10:00～12:00

場所：弘前市民参画センター

内容：「自宅にあるものを使って

楽しい遊び・交流会」

対象：子育て中の家族

★「ワーク・ライフ・バランス」

フォーラム in 弘前

日時：8月30日（木）13:30～16:00

場所：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前

基調講演：広岡守穂氏（中央大学法学部教授）

定員：200名 託児無料（要予約）

申込み・問い合わせ：

青森県青少年・男女共同参画課（017-734-9228）

弘前市子育て支援課（0172-40-7038）

★女性弁護士による女性のための法律相談

日時：10月23日（火）14:00～16:00

場所：弘前市民参画センター

定員：3名（1人30分程度）

対象：事前に電話相談いただいた方で、弁護士による法律相談が必要であると認められる方

問い合わせ：アピオあおもり

（青森県男女共同参画センター相談室）

017-732-1022（9:00～16:00 水曜定休）

★「津軽男女共同参画まつりin弘前」

日時：11月18日（日）11:00～16:00

場所：弘前市総合学習センター

問い合わせ：アピオあおもり（017-732-1085）

●開館時間の変更

市民参画センターは、8月1日（水）～8月4日（土）の4日間、ねぶた運行による交通規制等のため、17時で閉館します。

●臨時休館

市民参画センターは8月27日（月）・28日（火）の2日間、施設点検等のため休館します。

編集後記

たまに聞こえる、ねぶたの笛の音にザワ。毎日の様に上がる、宵宮の花火の音にもザワザワし、行かないのに日程表を確認してしまうのは、やっぱり津軽衆!?なのではないでしょうか？

miz

本の紹介

タイトル

「置かれた場所で
咲きなさい」

渡辺和子 著
幻冬舎 刊



～自信を失った心に響く言葉～

偶然つけたテレビの画面で初めて著者に出会った。インタビューを受けている笑顔の素敵なシスターが彼女だった。彼女の著書が話題になっているとのことで紹介されていたのだが、番組が終わるころにはこの本をぜひ読んでみたいと思っていた。

9歳の時、自分の目の前で銃弾を受けて息を引き取った父の話をし、9年間の短い間に一生分の愛情を父から受けたと話す著者。36歳の若さで大学の学長になり、80代の現在も学園理事長として学生に講義をしているという。また50代の働き盛りの時にはうつ病を経験し、宗教家である自分がどうしても悩んだそうだが、「宗教とうつ病は何の関係もないですよ」という医師の言葉に救われ克服できたのだと、自分の生きてきた道を淡々と語る姿に引き込まれてしまった。

著者自身が自信を喪失し悩んでいた時に、一人の宣教師が渡してくれた英語の詩の冒頭の一行が「置かれたところで咲きなさい」という言葉だったそうだ。人間と生まれたからにはどんなところに置かれても、そこで環境の主人となり自分の花を咲かせようと、決心することができたそうだ。

この本は第1章の「自分自身に語りかける」から第4章の「愛するということ」まで心に響く内容になっている。特に第3章の「美しく老いる」では、「毎日を『私の一番若い日』として輝いて生きる。」という言葉に揺さぶられた。老いに向かって生きている自分にエールをもらったような気がした。80代の著者の言葉だからこそ重みを感じたのかもしれない。どの年代の人にも読んでもらいたい一冊である。

by komori



弘前市民参画センター

〒036-8355 弘前市大字元寺町1番地13

TEL 0172-31-2500

FAX 0172-36-1822

開館時間 9:00～22:00

休館日 12月28日～1月3日

http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyo/shisetsu/kyouiku/htm_sankaku/framepage.htm

